

地下ボクシング

エロ
ボクシング

R-18

エロボクシング漫画38ページ！

●桃栗VS黒柿戦

★特別付録★

■桃栗&黒柿選手
立ち絵イラスト
■奥付凌辱絵
フルカラー作品

可愛い美少女2人が全裸で
本気ファイト見せちゃうぞ♡

地下ボクシング。

そこは美少女と野獣のみが入る事を
許された闇のコロシアム。

各々、事情を抱えたアスリート達が
多額の賞金を求め集う場所。

今夜も肉欲と暴力に飢えた
凶者が群がるリングに
生贄の美少女ボクサーが
降り立つ。

大きな歓声と共に合図のゴングは鳴った。
美しき贄達の舞い踊る戦いが始まったのだ！



●勝者100万円
○敗者20万円

◆女性選手は全裸で試合をする。(但しグローブ、シューズは装着する。)

◆クリンチした際、30秒の破廉恥行為を了解する。その行為によって「イク」場合、イッた選手は1ダウンとする。

◆ダウンして10カウントに入った場合、その時間内にレフェリーの男根にダウンした選手は口マ●コでご奉仕しなければならない。しなければ即失格(DQ勝ち)になる。この行為中カウントは止まり、1分以内に射精させる事が出来れば、そのダウンを「無効」とする。

◆特別失禁ルール。どんな場合でも小便(失禁)は1ダウンとカウントされ、大便(脱糞)は即失格(DQ勝ち)となる。

(※但し脱糞行為は、いたって一般的な事であり、リョナ行為としては判定されない。※選手の名誉保護)

◆試合に負けた選手はレフェリーにリング上で吟味された後、会場のお客様と乱交イベントに参加しなければならない。
(※次の試合がある場合、抽選券配布・制限時間30分。メインの場合2時間～。)

～反則行為～

★ジェンダー気質でのレフェリーへの抗議又は暴力。

★過度な流血への拘り。執拗な攻撃。

★凶器による攻撃(売り物に対しての欠損)。

★人気投票でのお客様の作為的投票行為。

◆その他のルールはボクシング基準に準ずる。

実況《さあ、様子見は終わり
第2ラウンドです。

エチエチボクシング

《新人の桃栗選手、アマチュアでは
常に上位にいた実力者、人気もある
彼女は、この地下ボクシングでどんな
試合を魅せてくれるのか？

《対するのとはベテラン、黒髪の
美しい黒柿選手、こちらも地下
ボクシングでは3位の実力者だ！

【桃栗VS黒柿戦】

桃栗『しゅっ！

《今度は
桃栗選手の
左い！

黒柿『っと！

《おっと先攻う！黒柿選手
右ストレート！

《しかし相手は
ちゃんと見ているぞ！



♥ECHI ECHI

エチエチ♥
ボクシング

実況《からの右ボディー！

黒柿『くふっう…

黒柿『生意気！
潰してやるわ！』

実況《続いて左一っ
しかし外れるう！》

桃栗『かふっ！』



桃栗
『はああーっ！』

『りゃあーっ！』

黒柿
『ぶべえーっ！』

実況《桃栗選手！強力なアッパー！
黒柿選手たまらずダウーン！



《カウントが始まった！



桃栗『ちょっと、
やり過ぎちゃった
かな？





レフェリー「シッススウウ～
セブウウウン！」



黒柿「つつっ…
やってくれたわね。」



『んふ♡』

んふ♡

んふ♡

桃栗「ええっ！？」





実況《レフェリー、臭苦い精液をちゃんと飲んだかチェック！



《OKのようだ！試合続行！



桃栗『これが…



これが地下ボクシング？

！

実況「さあ、試合再開だあ！」



実況《黒柿選手のカウンター！！



桃栗『え！？





実況《桃栗選手！
反撃のワンツー！



桃栗『くっ！



『ぶはうっ！…

《と、かわしてからのボディーツ！！



《黒柿選手そのまま、
桃栗選手をロープ際にと
追い込む！



『ぐばあ！』

実況《続いてアッパー！



桃栗『はぶっ！



実況《つと！しかし
上手く弾いた！



黒柿『トドメっ！

桃栗『ふぐっ！



『ただの案山子じゃ
ないみたいね？



《桃栗選手
窮地を脱出っ！

『ふーん。



(震えてる?)



「なら私が
教えてあげる。」

黒柿「あら、
わからないの？」



「え?!」

「それは
恐怖よ。」

「あなたねえ、
ビビってるのよ!」



桃栗「急にあの
人強くなった？」

何で...

!

ガ
タ

ガ
タ



『でもその余裕、ちょっと生意気ね。
ぶっ殺してあげるわ！』



『わっ！』

『そんな事
ありません！』

『へー清楚
気取って、
大した
エロがきね〜』

『そんなクっサイ
おデシボ、チュッ
デュしたいんだ？』



桃栗『私が
あんな事や
こんな事…』

黒柿『あら～
想像しちゃったの？
その顔、満更じゃ
ないわね？』

『そんなクっサイ
おチンポ、チュッ
チュしたいんだ？』

『そらあ！』

『きゅふっ…』

実況《黒柿選手のボディー！！》

実況《黒柿選手のボディー！！

《そして左の
ボディーーツ！

『ふんっ！

黒柿『ひぎゅうーっ！ ::

実況《更にボディー！
しかし上手くガードされた！

桃栗『たりゃあ！

《桃栗選手の右っ！



帰ったつもりが、逆に正気に
戻らせるなんて、とんだ誤算ね。

『アマ時代のじゃじゃ馬娘、
伊達じゃないってところかしら。』

桃栗『…最初のダウン
きっとワザとだ。』

『私にエッチなところ
見せ付けて油断させる為の。』

『こんな地下にもあんな風に
戦える人がいるんだ。』

『アマで戦った誰よりも強い。
私、自惚れてたかも…うん。』

『…あの人が強い。』



黒柿(どんな場所でも自分のペースに持ち込む才能があるのね。大したものだね。)



スタッフ「黒柿さん相手に善戦ですね、凄いです！これどうぞ。」

桃栗「有難うございま〜す。」



(最初は裸で戦う事さえ嫌がってたのに。)

相手が同じ女性だから試合に集中出来るようになったのね。

(でも、まだわかってないわ。あのお嬢ちゃん。これが地下ボクシングって事をね。)

(だから次のラウンドで終わらせてあげる♡)





実況《更にもう一発！！》

黒柿『ぐふっ！』

《桃栗選手の連続攻撃が
綺麗に決まったー！》



《黒柿選手、
たまたま
クリンチだ！》

桃栗『あ！
えっ？』



『かはっ！』

黒柿「ええ、
大丈夫。
ごめんなさいね。」

桃栗「だ、大丈夫ですか？..

『それでは試合に戻ろうかしら。』

『はい！』

『からのレズキッス！♡

実況《これは一っ！





『ダーメ♡』



黒柿『ん〜？』



桃栗『や、やめて下さい！』



『こんな事、人前で、
女の子同士で…やめて..』



『チュウ♡』

『あなたの
オッパイ
美味しいわ♡』



『レロレロレロ〜
ふふふっ♪』

『ふううんっ♡』



『我慢なくていいの、
気持ちよくイッちゃいなさい
ほらほら♡』

『そんなあ、
ふーっ！ふーっ！
うううっ…！』



黒柿『ほ～ら
ほ～らあ～♡』

桃栗『だ！ダメ！やん…』



『もう無理です～』

『お願いします！
もうやめて下さい～』



『やああああ——ん！
やああああ——っ！！♡』



実況《おおーっ！
天使の泉が噴き出した！



《黒柿選手のイチャラブ百合クリンチに
桃栗選手、たまらずダウン！



レフェリー「ワン！
ツウウー！」

《そしてレフェリーの
カウントが始まった！





『あうああ…ゲホッ！
ハアハアハア…』



レフェリー『ブヒッ！ブヒャヒイ～！』

桃栗『んぐっ！』

『んぶっ！！』

『いぐ！いぐ！いぐ！
いぐううう～～っ！！』



『んんん——っ！！』



実況《桃栗選手、カウントを逃れるも
立ってるのがやっただ！



桃栗『ハアハアハア...』



黒柿『メス穴
サンドバッグ
完成ね♡』







《そしておまけの左だあ！

桃栗『あぎゃう！



《連打！連打！連打！
黒柿選手が止まらない！

桃栗『あぎゃあああ——うううっ！！』



黒柿『トドメ！』

桃栗『きゃふああ——
——っ！！』

実況《黒柿選手！ラッシュからの
強烈な右アッパー！！

桃栗『…』

《桃栗選手、ダウーン！
これは立てないーっ！



《アマチュア界の強者を仕留め、
見事勝利を掴んだ！！》

黒柿『アハハハッ！
やったわ！
応援有難う、皆っ♡



実況《レフェリー、カウントせず
試合を止めた！

《試合終了おおーっ！
勝ったのはベテラン、
黒柿選手の方だあ！



END



アナウンス《それでは
整理券をお持ちの方は
リング上にお集まり下さい。

《これより桃栗選手による、
敗北乱交パーティーを開催いたします…

エチエチボクシング

犬飼も私
です

◆作者・桃色ランプ
◆発行・星1ソフト

●この作品はフィクションです

※無断転載・素材使用・アップロード禁止



♥エチエチボクサー♥

栗代
桃花



♥エチエチボクサー♥

黒柿
八重

桃栗『ふんあっ！んんんっ！
そんなあ、こないっばい！』

私も食け
たです

『ハアハアハア…やああん♡
やだやだ！またイツちゃうん！』

『ああああっううっん♡』













































































